会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（第一ハイツ茅ヶ崎自治会）
2　日時	平成30年6月23日（土）17：00～18：00
3　場所	第一ハイツ茅ヶ崎　コミュニティルーム
4　出席者	（資源循環課）森岡副主査、永井主任 （環境事業センター）小俣担当課長、鈴木主事 （第一ハイツ茅ヶ崎自治会）参加人数：10人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。主な意見は次のとおり。 ●将来予測として、ごみの排出量が年々減るとのことだが、人口が減少傾向にあるからか。 →人口減少も加味している数字である。他にもこれまでの実績値などを加味し、将来予測を出している。 ●ごみ有料化に伴い、ごみが減少するとのことだが、先行市では、導入年度及び翌年度は減少するものの、それ以降は横ばいである。根本的な解決方法になるのか。 →学識の話でよく言われることは、有料化はごみ減量の最大の処方箋であるとのことで、その効果は実証されているものの、それとはまた別に、ごみの減量施策を打ち出していくことが必要と認識している。 ●以前住んでいた多摩市では、すでに有料化が実施されていたが、そこでは袋いっぱいにごみを入れて大変であった。家計への負担感も相当であった。今は茅ヶ崎市に引っ越してきて、無料であることに驚いていたが、茅ヶ崎市が有料化を実施することは決定しているように思えて残念である。 →ごみの有料化を実施した場合は、新たな家計への負担は避けられない。実施の可否については、まだ検討段階である。 ●横浜市はごみの有料化は検討しているのか。 →横浜市は議論に上がっているとのことで伺っているが、規模が大きいためなかなか議論が進んでいないのが現状なのではないかと考えている。 ●ごみの有料化を実施するしないに関わらず、我々市民としてできることは、ごみを減量することだと思う。その中で、横浜市は資源物の対象品目が多く、徹底されていると思う。また、ごみの適切な分別については、今でも判断に悩むことがある。啓発を強化すべき。 →市としても有料化だけではなく、啓発の強化や資源品目の拡大などを対策として検討している。しかし、資源化については、相応の費用が伴うため、バランスを考えた上で検討を進めて行きたいと考えている。

	以上